

三島公民館だより

5 月

87

木曾檜と新しい皮袋

三島公民館長 芝 嘉也

このたび第十八代三島公民館長に就任しました。歴代の館長と地区の皆さんとが築かれた伝統を受け継ぎ、更なる発展のため微力を尽くしたいと思えます。

「木曾檜」と呼ばれる、木曾の奥山育ちの自然木があります。樹齢七十年で胸高直径が十五センチ、普通の檜の半分で、随分生育が遅い。幾世代にも渡って見守り続けると、芳香を漂わす名木に育つそうです。伝統とはかくの如きもので、同じように見えても確実に年輪を加え成長を続けます。



芝館長(下大野)は平成 13 年大洲高等学校校長で退職。平成 18 年には三島自治会長として、ふるさとの発展に尽力されました。

また一方、「新しい酒は新しい皮袋に盛る」という諺があるように、社会の変化に伴う時代の要請に対応した新しい考え方を実現するためには、それに応じた新しい方法・形態が必要なのもいうまでもありません。

ともあれ、三島の伝統を守りつつ皆さんのご意見、ご要望を糧として、更によりよい三島公民館にしていきたいと思えますので、よろしくご協力、ご支援をお願い致します。

小さな一歩を

三島自治会長 兵頭 敏和

新芽が勢いよく伸び、自然の息吹を感じる季節となりました。私、このたび本年度の自治会長として就任しました。区長、組長さん、団体長の方々に始め地域の皆様方のご協力を頂いて三島地区を更に活力ある地域にする為に微力ではありますが、



自治会総代会で選任され、第 45 代自治会長に就任した兵頭さん。住民の協力と団結で三島を盛り立てて行きましょう。

誠心誠意務めていきたいと思えます。さて現代は、地方の自治力が問われています。三島は先輩の方々が実践されてきた自治会組織があり活発に様々な行事が取り組まれており、環境面においても自然の景観や人情味ある地域となっています。

昨年度は、各部落で「自主防災組織」が、更に地区でも「三島地区自主防災対策連絡会」も結成されました。「自分達の地域は自分達で守る」を基本として行政と地区が一緒になって、安全で安心な町づくりを目指す必要はありません。

今年度も、各種行事は例年通り行います。が「小さな一歩」として三島地区の統一清掃日を設けて取り組むことを計画しました。「美しく、きれいな所には人が集まる」と言われます。住民の皆さんの参加、協力で美しい町づくりを実践したいと思えます。小さな行動のひとつかもしれないですが、将来に繋がる一歩にしたいものです。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

お世話になります

三島の組織として中心となる自治会、町有林管理組合、昨年発足した自主防災対策連絡会の役員が四月十四日に開催された自治会総代会で決定。更に各部落の区長さんが決まりましたので紹介します。

自主防災対策連絡会

役名	氏名
会長	兵頭 敏和
副会長	桐島 森男
部長	杉本 孝司
	井伊 敏正
	奥浦 章
	上砂 秀明
程内 義幸	
班長	各部落の各組長

三島自治会

役名	氏名
会長	兵頭 敏和
副会長	桐島 森男
会計	杉本 孝司
監事	程内 義幸

町有林管理組合

役名	氏名
組合長	清家 茂
副組合長	兵頭 敏和
会計	井伊 敏正
監事	上砂 秀明

毎年5月15日は「三島地区防災の日」この日は防災訓練の開催、防火・防災組織の啓発行事などを計画しております。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

各部落の区長さんの顔ぶれ

広見
杉本 孝司 区長



小松
桐島 森男 区長



下入野
井伊 敏正 区長



久保
上砂 秀明 区長



延川
奥浦 章 区長



川上
程内 義幸 区長



以上の方々です。この一年間、行事を通して大変お世話になります。よろしくお願致します。

三島地区の行事決まる

今年度の主な行事が決まりました。少しでも多くの行事に参加して頂き、地区の親睦を深めていきましょう。皆様のご協力をお願い致します。

月日	行事名	備考
6月7日(日)	一般レクバレー大会	
7月12日(日)	職域レクバレー大会	
8月15日(土)	夏祭り納涼大会	雨天順延
9月6日(日)	三島小体育館ガラス拭き	利用者で実施(バレーボール利用者)
9月15日(火)	敬老行事	
9月20日(日)	大運動会	雨天時は21日
10月11日(日)	球技大会	雨天時はバレーのみ実施
11月1日(日)	戸祇山登山	雨天時は8日
11月15日(日)	農民祭・総合文化祭	
11月29日(日)	体育協会長杯レクバレー大会	

別れあれば 出会いあり

三島自治会歓送迎会

春もたけなわの四月四日、公民館において自治会の歓送迎会が盛大に開催されました。今年の異動は小学校、駐在所、保育所、農協、公民館と総勢十五人の大幅なものとなりました。その中、公民館内は館長が退任。主事が異動ということで、このページは前館長と新旧主事から、住民の方々へのメッセージを掲載することにしました。



退任の挨拶で8年間の懐かしい思いを切々と話される葛川さん。歓送迎者お一人お一人からも、三島の思い出や新たな環境での取り組みを熱く語っていただきました。会場からは「お疲れ様でした。お世話になりました。」と「お願いします。」の惜しみない、あたたかいエールが送られていました。

公民館勤務を振り返って

前公民館長 葛川 熊夫

緑の風が爽やかな季節となりました。さて、私事この三月末日で四期八年間務めた公民館長職を退任しました。在任中は地域の皆様方のご協力ご支援のおかげで無事任務を終えることができましたこと、心からありがたく深く感謝いたします。

顧みますと、三島公民館と三島診療所の新築の時期に主事として、また公民館の大規模改修の時期に館長として務められた事は、私にとって良い思い出となりました。

事業では、ひらかれた公民館に取り組みました。三島小児童の減少にともない「農民祭・体育祭」が平成十三年から「三島大運動会」に、「春の文化祭」が平成十四年から「農民祭・総合文化祭」と改称になり小学校と地区が合同で毎年盛大に開催されています。

地区の動きとして、蚕糸跡地に平成十八年から三年の間に、町営住宅十二棟が建築され、若い家族の入居もあって三島が活気づいています。そつした動きの中心的役割を果された三島自治会に感謝し、退任お礼のご挨拶と致します。



前主事 坂本 誠

最長在職記録を打ち立て、この春、給食センターに異動となりました。



新主事 室 藤雄

毎日楽しく多くの方と仕事をさせて頂き、夢のように過ぎた6年間。「心に通じる道は胃を通る」という言葉があるそうですが、皆さんと地元料理を肴に杯を交わしながら、三島の様々なことを教えてもらった日々が、私の宝物です。本当にお世話になりました。

この度の異動で三島公民館勤務となりました。三島地区での勤務は、診療所以来四年三カ月振りになります。今回、公民館勤務ということで、今までに経験したことのない職場であり、不安と期待とが交錯しています。

今後、公民館活動においては、先輩達が築かれた伝統を守り、地域性を生かした生涯学習に取組みたいと考えていますが、まずは地域の皆さんの顔と名前を早く覚えていくことだと思っています。これから色々とお世話になることと思いますが、ご指導ご協力の程宜しくお願い致します。

行事予定

- 5月 -

- 15日(金) 自主防災対策連絡会
18:00~
- 22日(金) 公民館運営審議会
19:00~
- 26日(火) 戸祇の子学級
開講式
13:15~
三島小学校

- 6月 -

- 4日(木) パソコン教室
以降毎週火曜、木曜
計8回実施予定
19:00~
- 7日(日) 一般レクパレー大会
8:30~
三島小学校

祝・祭日には国旗を
立てましょう。

発行者

鬼北町小松 1523
三島公民館
電話：48-0111
FAX：48-0303

公民館だよりは、下記のアド
レスにアクセスすれば、カラ
ーでご覧になれます。

鬼北町ホームページ
アドレス <http://www.town.kihoku.ehime.jp/>

リレー
エッセイ

我が愛しの三島

24



酒井 美子 委員
教育 (久保)

法の改正で、「現在、子育て中の保護者を教育委員に加える」ということで、三島から、四年ぶりに酒井美子さんが委員に任命されました。そこで、今月は酒井さんに委員としての思いを執筆していただきました。

「伝えたい思い
がありました。
生命はそこ
に在るだけで

尊く、愛しいものである」と

大学病院で勤務していた日々の中で、いろいろな病気、障害の子ども達に出会いました。

大きな夢を抱きながら力尽きた子どもや、発達できなくて、話す事も食べる事も笑つ事もできず横たわるだけの子どもいました。それでも生命の煌めきは、私の中で消える事はありません。母となり、この豊かな自然と暖かい人達の中でのびのびと育ってくれた息子達にもあの小さな生命達の煌めきを伝えてたくて、折りにふれ話してきました。

今回、思いもかけず教育委員という大役を頂き、責務の重さを感じておりますが、子ども達の煌めく生命と輝く笑顔を守り支えるお手伝いと共に、少しでも思いを伝えていける様、頑張つて参りたいと思います。「頑張れ」と声をかけて下さる三島の皆様に感謝しております。「これからも宜しくお願い致します。」

第1回 館長杯 クロッケー大会の結果

開催日：4月10日(金)

順位	チーム名
優勝	延川B
2位	川上A
3位	下大野A
4位	小松B
5位	広見A

三月二十四日 中谷 俊生さん(宇和島市)
三月三十日 程内 一司さん(川上)
四月二十二日 野地 譲二さん(川上)

三島自治会・三島公民館主催事業へ、次の方から金一封を頂きました。
心より厚くお礼申し上げます。

「寄附のお礼